

ユーザーズガイド

Bluetooth 一次元バーコードリーダー

ALX-2200X

ご使用前に、本ユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

記載内容に関するご注意

- ご使用になる上での基本的な取扱い方法について説明しております。
- 本書は誤記の無いように注意して編集しておりますが、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

本機は安全を十分に考慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり、大変危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

⚠危険

- ・火中投下、過熱、高温の場所での充電、使用、保管、放置しないでください。内蔵の充電式電池が発熱、発火、破裂する原因になります。
- ・防爆エリア(引火性の物質がある場所など)では使用しないでください。

⚠警告

- ・絶対に分解しないでください。故障、火災の原因となります。
- ・使用中または充電中に異臭、発熱に気が付いたら、直ちに使用を中止してください。
- ・所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。故障又は電池劣化の可能性があります。
- ・ACアダプターを屋外で使用しないでください。また、布などでくるまないでください。感電、火災の原因となります。
- ・ACアダプターのプラグについたほこりは乾いた布で拭き取ってください。火災の原因になります。(トラッキング現象)
- ・濡れた手でACアダプターをコンセントから抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ・ケーブルのつけ根部分を無理に曲げないでください。故障、火災の原因となります。
- ・破損したケーブルおよびACアダプターは使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ACアダプターを他の製品に使用しないでください。

⚠注意

- ・火のそば、炎天下の車内、直射日光の当たる場所などで放置しないでください。変形や故障の原因となります。
- ・落としたり、強い衝撃を与えたり、ぶつけたりしないでください。
- ・上に重いものを置かないでください。割れてけがの原因になります。
- ・結露した状態で使用しないでください。
- ・ケーブルを引っ張って抜かないでください。必ずコネクタ部を持って取り外してください。
- ・充電時以外はACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ・プラグをコンセントに確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因になります。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。(日本専用モデル)日本国内仕様となっており、海外の規格に準拠していません。海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や修理・その他取扱いやバッテリーパックの寿命によって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に関わらず、当社は責任を負いかねます。
- 無線通信機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、当社は責任を負いかねます。
- お手入れにアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤、または、研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。
- 本機を分解、改造をすると保証やサービスの対象外となります。

商標について

- Bluetooth®マークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。
- iPhone、iPad および iOS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に掲載のその他の商品名または会社名は、各社・各団体の登録商標または商標です。™、®マークは付記していない場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で使用することはできません。

Bluetooth について

- 本機は、Bluetooth の規格に準拠していますが、接続機器によっては接続できない場合があります。
 - 本機が使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
 - 本機を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- ※本機は電波法に基づく技術基準認定済み無線装置を内蔵しています。

電波障害自主規制について

- 本機は、一般財団法人VCCI協会の技術基準に基づくクラスB情報技術装置です。
- 本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の長期保管について

- 長期保管をする場合は、電池の劣化を防ぐ為に 30℃以下の温度で保管をしてください。また、結露のないところで保管してください。電源OFF状態でも電池は消耗をしますので、過放電防止の為1時間~1時間半程度の充電を定期的に行ってください。
- 再び使用する際は、十分に充電を行ってからご使用ください。

本機の廃棄時の取り扱いについて

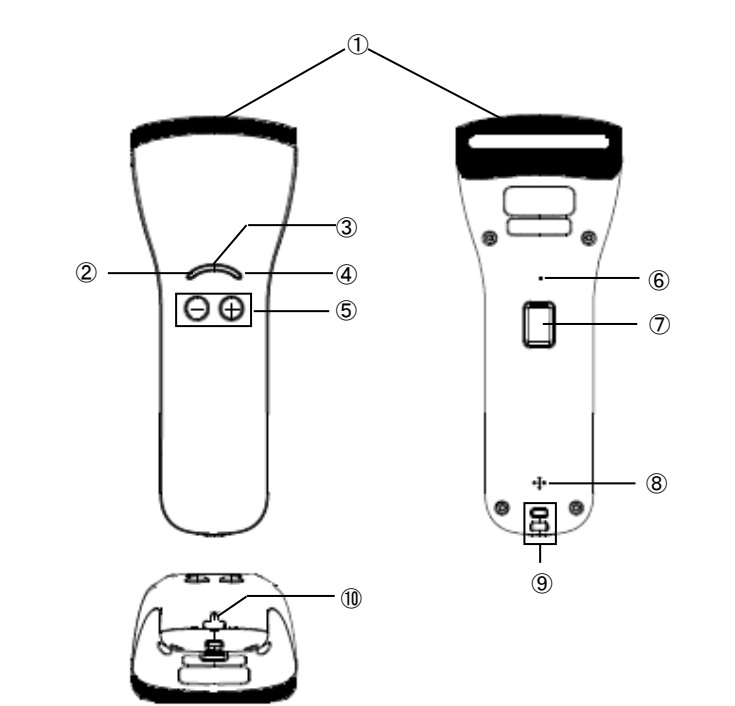
- 本機はリチウムイオン充電電池を使用しています。廃棄の際は、お買い上げになった販売店又は弊社にご連絡ください。リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力をお願いいたします。

同梱品の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万が一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店までご連絡ください。

- バーコードリーダー本体
- 充電スタンド
- ユーザーズガイド(本書)
- オプション購入品(ACアダプター、ストラップ等)

各部の名称と機能



名称	主な機能
① スキャナ	赤色 LED 光を照射しバーコードを読み取ります
② バッテリー LED	バッテリー充電時の状態を表示します
③ スキャン LED	バーコードを読み取った時に表示します
④ 通信 LED	Bluetooth の接続の状態を表示します
⑤ +/-キー	設定で各種機能を割り当てる事ができます
⑥ リセットボタン	2 秒長押しにて、本機をリセットします
⑦ スキャンキー	電源 ON 及びバーコードの読み取りを行います
⑧ ブザーホール	ブザー音が鳴ります
⑨ ストラップホール	ストラップを取り付ける場合ご使用ください
⑩ メンテナンス端子	お客様でのご使用はできません

LED の状態通知

スキャン LED と通信 LED により、本機の状態を表示します。

本機の状態	各 LED
バーコード読み取り成功	スキャン LED 緑 : 点灯
誤った設定バーコードを読み取り	スキャン LED 赤 : 点灯
Bluetooth HID ペ어링待ち	スキャン LED 緑と通信 LED 青が交互に素早い点滅
Bluetooth 接続完了状態	通信 LED 青 : 遅い点滅
Bluetooth HID 未接続	スキャン LED 緑と通信 LED 青が同時に早い点滅
Bluetooth SPP ペ어링待ち	通信 LED 青 : 早い点滅
Bluetooth SPP 未接続	通信 LED 青 : 早い点滅

本体の充電

- 本機はリチウムイオン充電電池を内蔵しております。出荷時は満充電されていません。充電を行ってからお使いください。
- バッテリー低電圧を示すスキャン LED が赤点滅を続けた際は、すみやかに充電を行ってください。充電は必ず付属の充電スタンドと当社指定の AC アダプターをご使用ください。充電を行う場合は、必ず 0℃~35℃の環境下で充電してください。

1. 充電方法

- 1) ACアダプターのUSB端子に付属の充電スタンドのUSBケーブルを接続します。コネクタの向きにご注意ください。
- 2) ACアダプターをコンセントに差し込みます。
- 3) 図のような向きに本機を充電スタンドに立て掛けてください。充電 LED が赤色に点灯し充電が始まります。充電 LED が点灯することを確認してください。



- 4) 充電が完了すると、充電 LED が消灯します。 ※電源が ON の状態で充電スタンドに置くとバッテリー ED は充電に関わらず赤点灯をします。

バッテリー充電中	バッテリー LED 赤 : 点灯
バッテリー充電完了	バッテリー LED 赤 : 消灯
バッテリー残量 10%以下	スキャン LED 赤 : 遅点滅
バッテリー充電異常	バッテリー LED 赤 : 素早い赤点滅

2. 充電時間

空の状態から満充電するまで、およそ 3 時間です。充電時間は、電池の残容量、使用環境やリチウムイオン充電電池の劣化状態などに応じて異なります。特に高温環境では電池保護の為、充電が途中で停止することがあります。

3. 充放電回数

リチウムイオン充電電池の充放電回数は 300 回を目安にしてください。使用状況により寿命期間は変動します。

下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。
機器の故障や思わぬ事故につながります。

- ・満充電をしても使用時間が短くなったとき
- ・充電中、本体の温度が高くなったとき
- ・本体が変形して膨らんだとき
- ・いつまでも充電完了しないとき

簡単な使用方法

- 電源 ON**
スキャンキーを押すと、スキャン LED が点灯し起動します。

- 電源 OFF**
「－」キーを 5 秒以上長押しすると電源 OFF します。
また、使用しない状態が継続した場合、自動的に電源 OFF します。
(初期値:30 分)
以下のバーコードを読取ることで、電源 OFF ができます。



- Bluetooth 接続(HID)**
本機は初期状態では、起動後に通信 LED とスキャン LED が交互に点滅してペアリング待ち受け状態になります。
ホストデバイスで操作を行い、本機とペアリングを行ってください。

- Bluetooth 再接続**
起動後に通信 LED とスキャン LED が同時に点滅し、直近で接続していたホストデバイスへ自動接続処理が行われます。
10 秒以上経過しても接続処理が完了しない場合は、ホストデバイス側の Bluetooth の状態をご確認ください。

- Bluetooth 別のホストデバイスへのペアリング**
直近で接続していたホストデバイス以外へペアリングを行う場合は、ホストデバイスの電源を切るかペアリングを解除して Bluetooth 未接続状態にします。
スキャンキーを 8 秒間以上長押しします。
または、下記「強制 Bluetooth ペアリング待ち(HID)」の 2 つの設定バーコードを読取ります。
通信 LED とスキャン LED が同時に点滅から交互に点滅に切り替わりますので、希望のホストデバイスで操作を行い、本機とペアリングを行ってください。

強制 Bluetooth ペアリング待ち(HID)

ホストデバイスと Bluetooth HID 接続を行う場合は、以下の 2 つのバーコードを順に読取りペアリング待ち状態にします。
ホストデバイスで操作を行い、ペアリングし接続を行ってください。



ペアリング済みのホストデバイスの削除

スキャンキーを押して、赤色 LED 光をバーコードに当てます。
バーコードの読取りは、スキャン LED、ブザー音で確認できます。
※設定変更により、バイブレーションを動作させることができます。

幅約 5cm 以下のバーコードであれば、タッチスキャンができます。
バーコードの幅が広い場合、全体に照射できるように距離を取ってください。
※バーコードが読取れない場合、バーコードに対して赤色光を当てる角度をつけたり、距離を調整したりして読取りを行ってください。
バーコードの種類やラベルの条件によって読取距離が異なります。

iPhone・iPadに接続して使用する場合

出荷状態の場合、ペアリングを行うことですぐにご利用になれます。
また、「＋」キーにより、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることができます。

ブザー音量

バーコードを読取ることでブザー音量の設定を変更できます。



大



中 (初期値)



小



OFF

バイブレーション

バーコードを読取ることでバイブレーションの設定を変更できます。



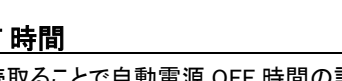
有効



無効 (初期値)

自動電源OFF時間

バーコードを読取ることで自動電源 OFF 時間の設定を変更できます。



5分



10分



30分 (初期値)



60分



60分

キーボード配列

バーコードを読取ることでキーボード配列の設定を変更できます。
ホストデバイスが iOS や Android の場合は英語に設定、Windows PC の場合は日本語に設定してご使用ください。



英語 (iOS/Android) (初期値)



日本語 (Windows PC)

リセット

リセットは、異常な動作をした場合のみ行ってください。
リセットボタンは、細い棒状のもので 2 秒以上押ししてください。
電源 OFF 状態になります。
※リセットを行っても各設定情報は保持されます。

工場出荷状態に戻す

プロファイル : HID
デバイス名 : ALX-2200X+アドレス下 4 桁+HID
※デバイス名は本機の裏側に記載しています

ブザー音量 : 中
バイブレーション : 無効
自動電源 OFF 時間 : 30 分
キーボード配列 : 英語(iOS/Android)

工場出荷状態に戻す

工場出荷状態に戻す場合は、下記「設定の初期化」及び「ペアリング済みホストデバイス情報の削除」を行ってください。

設定の初期化

2 つのバーコードを順に読取ることで初期化を行います。
Bluetooth 接続状態やペアリング済みホストデバイスの情報は維持されます。



ペアリング済みのホストデバイスの削除

バーコードを読取ることで本機に保存されているホストデバイス情報を削除できます。
電源を入れ直すとペアリング待ち状態となりますので、希望のホストデバイスでペアリング操作を行ってください。



詳細設定方法

本ユーザーズガイドは主要項目のみを記載しています。

お問い合わせ

弊社ホームページに詳しい設定方法を記載した「設定ガイド」を掲載しております。
設定ガイドをダウンロードしていただき、設定を行ってください。

本機は PC などの液晶画面に表示したバーコードを読取ることができますので設定ガイドを印刷せずに設定を行うことができます。
※液晶画面の光の反射やバーコードの大きさによっては読取れない場合があります。

https://www.alf-net.co.jp/alex-2200x/

https://www.alf-net.co.jp/alex-2200x/



主な仕様

型番	ALX-2200X
CPU	32bit CPU
LED	バッテリー LED(赤) スキャン LED(緑/赤) 通信 LED(青)
入力キー	スキャンキー ファンクションキー(+/-)
スキャナ	CCDイメージセンサー(1次元) 300scan/S 分解能 4mil(PCS90%,Code 39) UPC-A、UPC-A Add-on UPC-E、UPC-E Add-on JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 Add-on JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 Add-on Code39、Code128、GS1-128(EAN-128) GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Limited
Bluetooth	Ver.5.0 Class2(10m ^{※1}) HID/SPP
ブザー	音量 4 段階(OFF 含)
バイブレーション	ON/OFF 設定
電源	リチウムイオン充電電池(交換不可) 充電時間 約 3 時間
動作環境	温度 -10～50℃ (但し充電時は 5～35℃) 湿度 10～90% (結露がなきこと)
保存環境	温度 -25～60℃ 湿度 5～95% (結露がなきこと)
保護等級	IP40
落下強度	1.5m コンクリート ^{※2} 1.0m タンブルドロップ ^{※3}
取得規格	VCCI Class B TELEC
本体外形寸法/重量	高さ 171mm 幅 68mm 厚さ 52mm 118g
充電スタンド外形寸法/重量	高さ 81mm 幅 80mm 厚さ 65mm 192g

※1 使用環境により異なります。保証値ではありません。
※2 6面各3回コンクリート面に落下。
当社規定による試験値であり、保証値ではありません。
※3 直径1mのドラム内で200回の回転落下。
当社規定による試験値であり、保証値ではありません。

- 不明な点がございましたら、お買い上げになった販売店又は弊社製品サポートセンターまでお問い合わせください。
お問い合わせ時は購入先、購入時期、本体のシリアル番号をお聞きしますのであらかじめ準備をお願いします。

製品サポートセンター : 050-3193-1935 受付時間 : 9:00～17:00(土日祝日および休業日除く)

お問い合わせ

株式会社アルフ